



第 5 号
2023 年
3 月 5 日

北関東教会「教会を語る会」

東京教区「新教区設立に関する説明懇談会」開催

2月11日、北関東教区では志木聖母教会で、東京教区では聖アンデレ主教座聖堂で教区の歩みについて話し合う企画が開催されました。

北関東教区

午前中は高橋宏幸主教・東京教区の中川英樹司祭・太田信三司祭が、両教区の宣教協働についての考えや今後の方針を語られ、東京教区としての受け止め方について直接伺う初の機会でした。特に、両教区の協働、新教区設立へ向けた議論がこれからの教区を考える上で良い契機となったこと、コロナ禍での難しさや今後のありようとして、以前のように戻すことだけではなく、新たな姿について考えていること等のご意見に共感しました。

午後からは、北関東教区としての現実的な問題が話し合われました。ここに協議の柱として提示された財政小委員会からの報告では、具体的な内容が示され良かったと思います。普段はなかなか分かりませんが、宗教法人としての事業の在り方について考えさせられました。

その後の質疑応答では多くの参加者たちからの発言があり、様々な課題を共有しました。しかし皆さんが協働の歩みに関心を持ち、耳を傾けているという受け止めとして嬉しく思いました。

「どうしたら教会に関わる人が増えるのだろうか」。この疑問は聖公会全体が抱えて続けています。今後も、両教区が問題・課題を分かち合う仲間として歩んでいかれることを願っています。

東京教区

東京教区においては、同日、聖アンデレ主教座聖堂において教役者と信徒代議員を中心に集まり「新教区設立に関する説明会懇談会」が13時半より開催されました。

高橋主教の力の入った開会演説につづいて、教区の財政面からの発題がなされました。大きな課題として、牧師の給与についてコロナ禍を経て、すべてを献金に依存している東京教区のシステムには限界が来ていることがあげられました。そのうえで信徒、献金、聖職者数についての今後5年間をいかに歩むかが重要になってくることの説明を受けました。また、北関東教区①教会の自給、②教区からの俸給援助資金

③収益事業といった給与システムが紹介されました。

分科会では各教会グループに分かれて、「新教区設立が実現したら？」をテーマに話し合われました。積極的な意見が出される一方で、「教区の体質は様々で、一つになるのは簡単ではない」といった意見も交わされました。短い時間でしたが活発な討議がなされました。今後とも各教会グループで話し合いが継続されることを期待します。

2教区合同で夕の礼拝 オンラインで

会の最後に、北関東の志木聖母教会と、東京の聖アンデレ主教座聖堂をオンラインで結んで、初の合同夕の礼拝が行われました。

音声の不具合があり、予定時刻を過ぎても礼拝が始まらず、礼拝堂いっぱい東京の会衆と、前方の大きなスクリーンに写し出された北関東の会衆が、今か今かと礼拝の開始を待っていました。

閉会時には、北関東の皆さんが私たちに向かって自然と手を振ってくださり、東京も思わず手を振り返して、そこで初めて同じ時間を共有した実感がわきました。それはまるで、聖霊降臨日に「ゴーツ」と風が吹いて、それまでバラバラの言葉を話していたのが、急にお互いの話すことがわかるようになったできごとのようでした。きっとあそこにも働いたのです、聖霊が！

次回はぜひ同じ会場で集まって言葉を交わし、共に礼拝をおささげできますように。

【宣教協働小委員会 巡礼チーム】 教会訪問記

北関東教区 浦和諸聖徒教会

東京教区 インマヌエル新生教会

1月9日、2月18日に「教会巡礼」が浦和諸聖徒教会、インマヌエル新生教会で行われました。浦和諸聖徒教会での一日については、「教会訪問ブログ」に詳報されていますので、ぜひご覧ください。今回はインマヌエル新生教会の訪問記をご紹介します！

北関東教区からの5名が西武池袋線江古田駅から徒歩10分程度の距離にあるインマヌエル新生教会を訪問しました。

朝の採光がガラスの窓に反射して美しい光景でした。牧師の卓志雄（たくじょうん）司祭と東京教区の藤田誠執事、信徒3名に温かく迎えていただきました。

午前中は、挨拶を交わしながらインマヌエル新生教会誕生の経緯を伺いました。池袋聖公会・東京聖マルチン教会・練馬聖カプリエル教会の3つの教会がひとつの教会として新たに生まれたのが2019年1月だそうです。

語り尽くせないほどの3教会の努力と信念、エネルギーがこの何年もの間に積み重ねられたのかと思つと感動が自分の鼓動の中に湧き上がって少

し目頭が熱くなりました。当教会信徒のお話の中で、100回以上信徒同士で意見交換を繰り返してきて完成した時に多くの信徒たちが「あのと、どうして反対したのか、もっと早く一緒になれば良かったね。」という声が生まれたという内容に、重ねてきた苦勞がひとつになって喜びに変わっていくところがいエスご自身が望んでおられることではないだろうかと感じました。それは教区再編にも当てはまることだと思います。

教会内を案内していただくと、2階の礼拝堂に驚いた。広い窓一面が明るく、十字架が私たちを招いてくれました。

3つの教会の大切な品々が散りばめられています。また、この日は信徒の方が刺繍をされていた。教会の手仕事はいつも優しい時間であふれています。このような時間は、どの教会でも失ってはいけないひと時だと思いました。

午後は江古田の街を案内していただきました。大学生の街、子育ての街、教会や神社があり住みよい環境だと思いました。インマヌエル新生教会訪問は、短い時間内に話を共有し、青空の下で笑顔になり、本当に参加できて優しい時間を得られました。感謝です。

み言葉と歩む大流節 黙想の手引き



両教区教役者が協働で寄稿した黙想の手引が発行されました。テゼ共同体の「み言葉の黙想」に基づいた日々の聖句と、教役者による短いコメントが記されています。各教会に送付されていますし、それぞれの教区ホームページからご覧いただけます。主の復活を記念するまでの道のりを、祈りをもつてご一緒ませんか？



東京教区



北関東教区

『きょうどう通信』へおたよりをお寄せください。宣教協働へのご意見・ご質問は下記メールアドレスまで。ご意見は「特別委員会」で共有しますが、掲載できませんが、ご了承ください。「春」をテーマにした川柳もお待ちしております。お名前は載せません。
kouhou.k.t@gmail.com

『きょうどう通信』第5号

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会

広報小委員会



写真いっぱい！
巡礼チーム
教会訪問ブログ